

千葉市

手をつなぐ育成会だより

第 168 号

令和 4 年(2022)11月10日
千葉市手をつなぐ育成会

会 長 成 田 智 子

千葉市稲毛区作草部2-4-5

でい・さくさべ 2 階

TEL・FAX 043-206-4050

✉ chibacity-hands@ikusei-kai.jp

災害時に備えて

熊本市手をつなぐ育成会の経験を学ぶ

9月12日(月)、稲毛保健福祉センターにて、熊本市手をつなぐ育成会会長西恵美氏、同副会長堅島陽子氏、同評議員中村淳子氏、若松真由美氏、山本博子氏、関東甲信越ブロック長で栃木県手をつなぐ育成会会長小島幸子氏とオンラインでつなぎ、

会員からは会場18人、オンライン7人の参加で開催しました。

熊本市では2016年に震度6強の地震が2回発生、その時の経験談をお聞きました。

『その時本人は？家族は？』

地震直後は動揺する方がいる一方、あまり変わらなかった方も多くいましたが、時が経つと通所先等の被災によりいつも通



りの活動ができずパニックを起こしたり、余震で家から飛び出してしまいう方もいたこと、また約6割の会員の方が迷惑をかける、気を遣う等の理由から避難所に行こうと思わなかったとお話がありました。

『経験してわかったこと』

地震発生後すぐには行政職員も被災して初動体制が取れず災害時要援護者避難支援制度も誰かがすぐに助けにきてくれる会員力ードではなかったこと、だからこそ近隣地域との連携の必要性、日頃からの備えが大事だと思われたそうです。

『私たちにもできること』

本人を知ってもらうために地域の民生委員の方に説明しておく、地域の避難訓練に参加する等、どこに避難しても本人が排除されることのないように、理解者を増やしておくこと、それにはやはり啓発活動が大切であるとお話がありました。

自分事として捉え、抜けてる所はないか、我が子の生活を守る為に出来る事はないか改めて総点検したいと思いました。

(広報部 御代)

要望書

声を
お聞かせ
下さい

7月15日(金)、令和5年度予算編成および障害福祉計画に関する要望書を千葉市へ提出し回答をいただきました。

1 計画相談支援推進事業補助金制度の継続

【回答】令和2年度に開始した「計画相談支援推進事業補助金制度」は、市内の相談支援専門員の配置を促し、増大するニーズに応えることを目的として、令和4年度までの3年間の実施予定としておりましたが、ご指摘のとおり現在も市内の相談支援専門員がニーズに対して不足している状況に変わりはないと認識しております。

2 地域生活支援拠点事業について

【回答】昨年度末で地域生活支援拠点事業は終了しましたが、基幹相談支援センターへ引き継ぎ対応しており、引き継ぎ前後で支援の内容に変わりはなく、特に支障は生じておりません。

また、令和4年度から各区基幹相談支援センターに地域生活支援拠点担当者1名を配置しており、定期的に全区の担当者が集まり、親亡き後も見据えた機能強化に向け具体的に協議を開始しています。直近では、基幹相談支援センターから市内計画相談支援事業所へ、利用者の緊急時や親亡き後の対応を予め検討するよう、また、どこにも頼れそうにない方の場合には基幹相談支援センターへ相談するよう依頼文を送付したところです。

3 どこシル伝言板(高齢者保護情報共有サービス)の障害者への拡充について

【回答】どこシル伝言板は本市では平成30年度より主に認知症高齢者等を対象として導入しております。令和4年7月末時点で導入している243自治体のうち、障害者へ拡充している自治体は3自治体に留まっているとのことです。障害者への拡充については導入事例が少数であることから、障害分野においての制度として運用するにあたっての効果や課題について、既導入自治体の事例を確認するとともに、拡充の是非及びその財源のあり方等を検討して参ります。

(会長 成田)

「地域」で生きる ～育成会啓発活動

10月8日(土)、稲毛区の千葉市社会福祉協議会障害者福祉委員会と313地区民生委員さんの合同研修会が小中台中央会自治会館で行われ、育成会からは成田智子会長、佐久間光正さん親子、藤芳晶さん、竹村が参加しました。手をつなぐ育成会の成り立ちから、知的障害児者の特性、それぞれの我が子の話をしました。また、日常での見守りや災害時などでの協力をお願いしました。民生委員の皆さんは、私達の話をときどき頷きながら真剣に聞いていただきました。障害による特性も、本人たちの日々の楽しみも生活も人それぞれですが、誰もが人間として尊重され差別や誤解をされずに幸せに暮らして欲しいと願っていることをお伝えできたと思います。(副会長 竹村)



知的障害や自閉症のある子どもを持つ親とその活動に賛同していただいた一般市民の方と結成。一見わかりにくい障害の特徴を具体的に紹介し、疑似体験等を通してわかりやすく伝えることで少しでも知ってもらい、障害のある子どもたちが住みやすくなるようにと活動しています。

今までに社会福祉協議会のボランティア講座、民生委員の方や子どもルームの職員、警備業協会の研修他いろいろな機会を得て公演しています。

キャラバン隊「ららら」

アンケートをとると「学校でやってほしい」「子供たち先生方にも体験してもらいたい」「分かりやすい」「目からウロコだった」等の感想がありました。各小学校では以前から福祉講話の授業が行われています。知的障害は体験できないと思われて参加の機会がありませんでしたが、今年度育成会に声がかかったと初めて市内小学校への福祉講話に参加することになりました。育成会から委託を受け、「ららら」が担当させていただくことになりました。

先日初めての福祉講話を海浜打瀬小学校四年生が体験。皆さん一生懸命に体験していました。帰宅して家族で話

育成会のうごき 7月～10月

- 7月4日 千葉市バリアフリー基本構想推進協議会
- 7日 障害者社会参加推進協議会
- 12日 養護教育センター運営協議会
- 14日 第57回手をつなぐ育成会千葉県大会
- 15日 千葉市へ要望書提出
- 8月10日 令和4年度第1回稲毛区支え合いのまち推進協議会
- 18日 千葉市と要望書についての懇談会・ヒアリング
- 22日 令和4年度第1回千葉市地域自立支援協議会全体会 書面開催
- 9月2・5・7日 各区おしゃべり会
- 12日 こども委員会・あんしん委員会コラボ
- 15日 千葉県手をつなぐ育成会権利擁護委員会
- 16日 令和4年度心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター審査委員会
- 29・30日 まち歩き点検ワークショップ
- 30日 福祉講話 キャラバン隊「ららら」(千葉市立海浜打瀬小学校)
- 10月4日 第22回全国障害者スポーツ大会千葉市代表選手団結団式
- 8日 千葉市社会福祉協議会小中台西地区部会障害者福祉委員会・313地区民生委員会児童委員協議会 合同研修会
- 15日 ハローでいさく出店
- 19日 千葉市新病院整備基本計画・基本設計の概要説明会
- 20日 福祉講話 キャラバン隊「ららら」(千葉市立さつきが丘東小学校)
- 22日 第56回手をつなぐ育成会関東甲信越大会長野大会

題にしてくれたらうれしいです。

(ららら代表・池田かある(会員))



小学校の体育館での講話

「おしゃべり会」を開催つづけます

おしゃべり会が、9月上旬に千葉市各6区の保健福祉センターにて開催されました。3年ぶりでしたが、近況報告、ちよっとした質問から本音の相談まで、おしゃべりが弾みました。皆さんもどうぞ、気軽に話したり質問のできるおしゃべり会にご参加下さい。

編集後記

◆小学部入学の頃は近所を散歩すること難しかった娘が高校生になり、伝統行事の「歩く合宿」に参加するようになりました。30.8kmを3日間で歩き切る行程に不安はありませんでしたが、結果はほぼ完歩。昔を思うと嬉しい成長です。(広報部 齊藤)

